

2014年10月24日発行



会員便り 第53号

公益社団法人 広島県社会福祉士会 広報委員会 編集
〒732-0816 広島市南区比治山本町 12-2 広島県社会福祉会館内 TEL : 082-254-3019 FAX : 082-254-3018

<緊急特集> 被災者によりそう社会福祉士の支援を～

広島土砂災害における広島県社会福祉士会の支援活動

会長 中島 康晴

冒頭にて、8月20日の広島土砂災害の被害によって、ご逝去された方々、そして、今もなおご避難をされている方々に哀悼の意と、お見舞いを申し上げます。また、本会会員の皆様に対しては、被災者支援のボランティア活動にご尽力賜り深く御礼を申し上げます。

本会の被災者支援の大きな方針としては、現地の混乱を防ぐため、行政や他機関との連携のもと活動を展開すること、そして、被災者に対する継続的な支援の観点から、持続性のある実践を行うことが挙げられると考えております。これらのことを踏まえ、現時点において本会では次の4つの活動を実施しております。①募金活動、②無料電話相談の受付、③ボランティアセンター本部への会員派遣、④広島県土業連絡会を通じての巡回相談員として社会福祉士を派遣すること。以上が、現在までの本会における大きな活動項目となっております。



広島のおもな土砂災害現場

①に関しては、活動を通じて被災地の現状を県内で広く共有するために、②では、社会福祉士会として今できることを即時に取り組むという姿勢で実施しております。③と④では、ソーシャルワークに必要なアウトリーチの実践を他機関との連携のもと行っているものです。詳細は、各役員より以下ご報告させて頂くことにします。

最後に、本会は、全国47都道府県社会福祉士会と日本社会福祉士会を含めた48の法人における連合体組織のもとにあります。現在日本社会福祉士会では、本会における被災者支援にかかる費用を確保するべく、全国に向けて募金の呼びかけをしてくださっております。全国組織であるがゆえに、この様な心丈夫に思える支援を受けることができるのも当会の特徴であることをこの場をお借りして共有させて頂きたいと思っております。

「広島土砂災害」被害の概要

死者：74名
 負傷者：44名（重傷8名，軽傷36名）
 住宅被害：全壊133，半壊122，一部174，
 床上浸水1300，床下浸水2811
 ライフライン：ピーク時で、停電6900戸，
 断水2662戸
 避難勧告の状況：892世帯，2278人
 避難所避難者数：避難世帯数26世帯
 避難者数48人

参照：広島市災害対策本部「平成26年8月19日からの豪雨災害への対応について」（9月29日現在）

10月号

<緊急特集> 「広島県土砂災害」における広島県社会福祉士会の支援活動について ～会長あいさつ/災害ボランティア活動への参加経過と内容/広島県災害復興支援土業連絡会について/今後の活動予定とご協力のお願ひ～ / 会員紹介リレー / あいサポート運動 / 社会福祉士お勤めの図書 / 事務局からお知らせ / 研修イベント情報

災害ボランティア活動への参加経過と内容

副会長 河口 幸貴

8月20日未明の発災から半日経過した同日18時、広島市災害ボランティア本部（市社協ほか）が設置されました。

翌21日16時に土業連絡会を通じて本会に広島市災害ボランティア活動連絡調整会議の開催案内が届いています。本会独自の動きとしては21日19時に西支部会員MLにて本会への支援要請及び支援者募集の前情報を発信、さらに翌22日には広島県・広島市・広島市社協へ協力申し出をしています。22日13時に第1回の広島市災害ボランティア活動連絡調整会議が開催され参加しています。ここで各団体へ人員派遣要請がありました。これを受けて8月23日以降、本会では「広島災害ボランティア本部」、「安佐南区ボランティアセンター」（安佐南区 VC）「安佐北区ボランティアセンター」（安佐北 VC）へ会員を派遣しています。

ボランティア本部での支援内容は主に電話対応で、県内および全国から寄せられるボランティア・支援物資の協力申し出の対応でした。組織化間もない本部は大量の要支援ニーズや支援希望者申し出を集約しつつ、自らの体制整備と広島市との連携を整理していきました。一方、二か所のボランティアセンターは土砂除去ボランティア等の采配を兼ねており、役割を細分化してニーズ聴き取り、マッチング、情報整理など、種々の班を編成して対応していきました。

本会は、東日本大震災支援の経験をもとに、本会内での情報伝達は自律的に行いました。特にボランティア参加の会員による自発的な報告・業務伝達が奏功していました。急ごしらえの組織が円滑に機能するには時間が必要で、その動きの中にはいろいろな意見が飛び交ったり把握していない事態が先行していたりと、ストレスフルな状況が発生します。そのような混沌の状況があるがままに受け止めて関わっていくことは、存外社会福祉士の慣れた手法のように思います。

発災から時間が経過するとともに生命維持ニーズから福祉ニーズへと被災者ニーズの転換が生じつつあり、これに合わせて自生的に各専門職の相談活動が起こってきました。社会福祉士会は個別相談、訪問相談、電話相談を想定し、広島市関係各課を訪問して相談支援活動と復興支援施策との連携を求めています。そして9月1日に本会無料電話相談を開設しました。また、9月3日以降、土業連絡会との連携で徐々に訪問相談活動が拡大しているところです。

◇当会活動の経過

- 8/19-20 土砂災害発生
- 8/20 広島市「広島市災害ボランティア本部」設置
- 8/21 広島県社会福祉士会(当会), 広島市災害ボランティア本部へ参加表明, 西支部メンバーリスト(西 ML)にて会員支援者募集
- 8/22 広島県, 広島市, 広島市社会福祉協議会へ協力申し出
- 8/23 広島市災害ボランティア本部への会員派遣
- 8/25~現在 広島市災害ボランティア本部, 「安佐南区災害ボランティアセンター」, 「安佐北区災害ボランティアセンター」への会員派遣(広島県災害復興支援土業連絡会との連携による)
- 9/1~ 無料電話相談の開始(当会事務局に設置)
- 9/4 日本社会福祉士会会長, 副会長, 事務局長と協議(必要とする支援について情報共有)
- 9/5 広島市訪問(健康福祉企画課, 障害自立支援課, 高齢福祉課, 市民活動推進課など)
- 9/5~ 巡回相談を開始(広島県災害復興支援土業連絡会の一員として)
- 9/17 NPO/NGO ボランティア会議出席(情報交換, 民間ボランティア団体との交流)
- 9/29 広島県災害復興支援土業連絡会会議(情報共有, 今後の活動方針について)

広島県災害復興支援士業連絡会について

被災者支援本部担当理事 百川 晃

広島県災害復興支援士業連絡会 構成団体

広島県社会福祉士会
 広島県介護福祉士会
 広島県建築士会
 広島県行政書士会
 広島県社会保険労務士会
 広島県精神保健福祉士協会
 広島県土地家屋調査士会
 広島県不動産鑑定士会
 広島司法書士会
 広島弁護士会
 中国税理士会広島西部支部
 日本海事代理士会中国支部
 日本技術士会中国本部
 日本司法支援センター広島地方事務所
 (法テラス広島)
 本会以外 50 音順, 全 14 団体

2011年3月11日に発生した東日本大震災では、数多くの方が被災され、被災地域を離れて避難生活を余儀なくされた方も多く、広島県内にも沢山の方が住み慣れた地を離れ避難されました。

広島弁護士会では3年前立ち上げた災害復興ワーキングでの支援活動を行うとともに、県内に避難された方々への相談は司法支援センター(法テラス)が担っておりましたが、相談会での内容が多岐にわたり弁護士会のみでは対応が困難な事案も見られたことから、士業間のネットワークを構築し被災者の方への支援体制を強化する目的で各士業に呼びかけがあり、10士業(現在は13士業)により「**広島県災害復興支援士業連絡会**」が設立されました。当会も早期からお声掛けをいただき、4月25日に開催された第一回目の会議には被災者支援本部から担当者が出席、以降会として士業連絡会の活動に賛同し参画しています。

会議では、行政からの県内に避難された被災者に係る情報を得ながら、参加各士会の活動について情報交換を行い、支援活動について協議を行いました。そして、具体的な活動として、

県知事訪問(士業連絡会)、無料電話相談会の実施、各士会の紹介・相談窓口の分かるリーフレットの作成を行いました。

また、広島市社会福祉協議会の災害ボランティアセンターが行っていた相談会等の支援活動や、広島市社会福祉協議会が設置した広島市災害ボランティア連絡調整会議に士業連絡会として参画しました。

この度の土砂災害に際しては、これまでの取り組みを踏まえて、広島市災害ボランティア連絡調整会議を通じて災害ボランティアセンターからの支援要請を士業連絡会としてお受けし、各士業で支援活動の呼びかけを行うこととなりました。

今後の活動予定とご協力をお願い 必要とされる支援を長く続けていくために

被災者支援本部副担当理事 河野 喬

土砂・瓦礫の撤去を中心としたボランティア活動が大きな成果を上げつつも、まだまだ被災者の皆様の直面する困難は大きく、今後は一層、専門職による継続的な支援が求められます。

9/29に開催された「第20回 広島県災害復興支援士業連絡会」においても「これからは、より相談支援が重要になってくる」ことが確認され、巡回相談、サロン型相談会を全構成団体で協力して展開していくことになりました。

しかし、上記の支援活動を継続するなかで、本会事務局にかかる負担、疲労度には大きなものがあり、本来業務の圧迫が起きております。皆様のご理解とご協力が必要です。

そこで西支部では、8/25以降、メーリングリスト(ML)で情報共有を図っています。ボランティア

での状況をメーリングリストにアップして報告し、それを次に派遣される会員が参照するという、会員同士の情報バトンリレーを続けてきました。その結果、ボランティア派遣の状況をリアルタイムに知ることができ、現場での円滑な支援活動につながっています。これからご協力いただく方も、西支部会員の方は「西支部」MLに、他支部の方は「災害支援」MLへのご登録をお願いします（「災害支援ML」へは、災害ボランティアエントリーシートのご提出によって登録します。ホームページからダウンロードしてください）。

ボランティア活動と情報共有——

東日本大震災以降、近年の災害ボランティアでは、日々刻々と災害現場の状況が変化するため、メーリングリストや SNS (Facebook 等) がとても便利です。しかし、情報共有の迅速化・円滑化の反面、情報過多、情報の偏りをはじめ、メンバー間のトラブルも発生しやすくなっています。今後、スムーズな支援活動を継続するためにMLの活用時に注意したいことをまとめています。ぜひ、ご一読ください。

会員の皆さまと力をあわせて、一人でも多くの被災者への支援活動が、継続的に展開できるように、ご協力をよろしくお願いします。

災害支援ML使用時の留意点

1. 「参加可能日時・場所・内容」、「情報確認」等必要な情報を、簡潔に記載すること
2. 他の会員の「情報確認」に対して、確かな情報をもつ場合にのみ、それに回答すること
3. 被災者、ボランティアの方々のプライバシーに関わることは決して投稿しないこと
4. 特定の人・組織等に対する苦情、非難、提言等は控えること
5. 活動報告は、次に活動する会員のためにその日のうちに投稿すること
6. MLへの参加が難しくなったら、直ちに事務局「office@hacsw.jp」まで連絡すること

会員紹介リレー

西支部 徳永 文 ～初心を忘れず、温かみのある支援を 広島パークヒル病院併設 西広島短期入所生活介護



私は、平成26年度社会福祉士国家試験に合格し、社会福祉士という道の出発点に立ったばかりの新人です。

社会福祉士の資格を取得する前は、病院で医療秘書の仕事をしており、病気に向き合う患者さんやその家族と関わりながら様々な人の生き方を学びました。また認知症の祖母の家族介護がきっかけとなり、福祉への道を歩むことを決意。高齢者分野の仕事に携わりたいと考えていた為、訪問入浴介護のヘルパーの仕事しながら通信制の養成校に入学。働きながら国家試験突破を目標に福祉の勉強をしました。受験勉強はあまりの範囲の広さに途方に暮れることもありましたが、社会福祉士会の勉強会に参加し、先輩にアドバイスをもらったり、受験生同士で励まし合ったり、周りの人たちのサポートのおかげで無事に合格することができました。

現在、高齢者施設でショートステイの生活相談員の業務をしています。まだまだ日々の業務をこなすのに精一杯で、新しい職場、新しい人間関係に戸惑いを感じる自分がいます。きっと認知症の方もこんな想いを抱えながら日々過ごしているのでは…と改めて気付き、環境の異なる場所で過ごす利用者や新人の私の想いはどこか通じるものがあるなぁと感じています。この初心を忘れず、温かみのある支援を心掛けていきたいと思います。今後は、社会福祉士会の生涯研修制度を活用しながら、社会福祉士として一歩ずつ成長していけたらと思っています。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

あいサポート運動出前講座活動紹介

まず、知ること。そして、社会を変えるために。

～県民オールサポーターを目指して～

私たちは、すべての障害児者と市民が結ばれる明るい社会を築きたい、という未来へ向けた展望を持っています。障害児者が自然な形で社会生活を送ることができ、障害児者と一般市民との境目が全く感じられないような、そういう社会を作ることが私たちの希望です。そのような社会が実現すれば、障害児者が必要とするどんな支援も市民がすすんで提供することはもちろん、障害児者のほうから市民に多くの情報が伝えられ、市民は多くのことを学ぶことが出来るようになります。こうした思いで広島県では、誰もが暮らしやすい共生社会を目指してあいサポート運動を推進しています。あいサポート運動では県民オールサポーターを目指し、あいサポート企業、団体や学校(小・中・高)等に出前講座を行っています。この出前講座には、広島県社会福祉士会会員の皆さんに講師としてご協力いただいています。



後藤淳子さん
広島市立荒神町小学校にて。
肢体障害について



田中洋子さん
広島市立八幡小学校にて。
障害を知り、共に生きる
まず、知ることからはじめましょう！



河村隆史さん
三ツ和工業にて。
精神障害について



呼川秀邦さん
友和の里にて。
障害者虐待について



ご紹介した方々以外にも、沢山の会員さんにあいサポート運動の講師として、各方面においてご協力をいただいています。今後も、皆さんにお声かけさせていただきますので、どうぞ、ご協力をよろしくお願いいたします。

あいサポート運動担当 事務局より

社会福祉士お勧めの図書

『原田泰治 ART BOX ふるさと日本百景』

原田泰治：著 講談社：発行



あっ、昔こんなことあったよなあ…

その時の懐かしい情景が頭に浮かび、心にグッと響くときがあります。自身の過去を追想しながら、前に向いて歩き出す活力へと切り替えることもあるでしょう。そのキッカケとなるものは、風景であったり、匂いであったり、音楽であったり…。この本には、そのキッカケが沢山と詰まっています。昭和生まれの方へお届けしたい心の処方箋。ぜひお試しあれ。

◆ホームレス支援委員会から 寄付のお願い◆

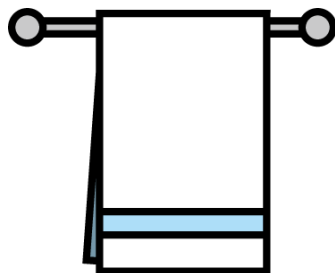
社会福祉士会では、2002年10月からホームレスの方々の支援として、夜廻り、入浴サービスなどを提供しています。

野宿をされている方々に、「昼食&相談会」をしています。散髪や足湯、食事でほっとして頂いたところで、健康に関する事や野宿生活を抜け出したい方のために相談を受けています。

次回の相談会は…
11月29日(土) 12:00~14:00
広島市社会福祉センター

会場の都合等で変更があることがありますが、原則として奇数月の最終土曜日に実施しています。

そこで
お願い!



タオル(新品)等のご寄付があると、助かります。「未使用だけど、押し入れの奥のほうにあったのでどうかしら…」なんてお気遣いはいりません。新しいものであればとても助かります。ご協力よろしくお祈いします。

詳しくは、事務局へ

ほ、ほんとうですか?
**ピンバッジをつけると
視線が変わる。**



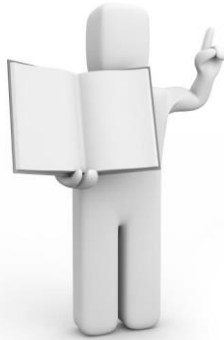
私たち社会福祉士は福祉専門職として、誠実に向き合う「志」をもっています。求められる広島県社会福祉士会会員としての活動には、ピンバッジを胸につけましょう。背筋がのび、いつもより数センチ上からの視野と、アロとしての思考のできる自分になります(体験談から)。さあ、あなたもあるべき誇りを胸につけてともに活動しませんか? また、ピンバッジがあるとなにかとお得なことがあるようです。ピンバッジについての詳しいことは事務局へ。

突然ですが、こんな質問をいただきました。

Q. 会の動きはどこでわかるの?

A. ホームページをご覧ください。「広島県社会福祉士会」で検索。研修情報、事業の様子、会の動きがわかります。役に立つ内容を今後も盛り込んでいきますのでチェックしてみてくださいね。





研修&イベント情報

研修やセミナーがとても多い、秋到来。
社会福祉士として、自分にインプットする絶好のチャンスです。
専門分野はもちろん、さらなるブラッシュアップをめざしてください。

2014年度 広島高齢者・障害者虐待対応専門職チーム障害分野研修

日 時 平成26年11月15日(土) 13:00~17:45 (受付開始12:30)
場 所 広島市西区地域福祉センター 大会議室 (西区福島町2-24-1)
内 容 障害者福祉の法制度概要, 障害者虐待防止法, 虐待対応の流れ
定 員 80名
資料代 チーム登録者1,000円, 会員2,000円
主 催 広島高齢者・障害者虐待対応専門職チーム (※本会と広島弁護士会の協定チームです)

東支部勉強会「相談援助技術を磨くための勉強会」

日 時 平成26年12月20日(土) 13:30~16:00
忘年会 17:00~19:00
場 所 福山すこやかセンター
内 容 13:30~14:00 情報交換
14:00~16:00 相談援助技術を磨くための勉強会
講師 小山 峰志さん (老人保健施設かなえ 施設長)
定 員 30名
参加費 500円 忘年会費 4,000円
主 催 東支部

『子どもソーシャルサポート研修』

貧困を背負って育つ子どもたち～気づき、考え、そして、どうする?～
講師 幸重 忠孝さん 昨年、感銘深い講演を頂き、今年もお願いすることとなりました!!
日 時 平成26年12月14日(日) 13:30~16:00
場 所 広島市南区地域福祉センター 大会議室
内 容 子どもの貧困対策について国の動向、各自自治体・民間団体における実践例を学ぶ。
また、今後の取り組みを検討する。
定 員 100名
参加費 会員1,000円、非会員1,500円
主 催 子ども家庭支援委員会

先輩社会福祉士に話を聞こう 第2弾

日 時 平成26年11月21日(金) 19:00~20:50
場 所 広島市中区地域福祉センター ボランティア研修室
内 容 ソーシャルワーカーとしての社会福祉士の役割について
※基礎研修Iを受講している方は、課題作成に役に立ちます!
参加費 無 料
主 催 西支部

独立型社会福祉士実践報告会 第7弾 「広島では誰がどういうことをしよるん？」

日時 平成26年11月29日(土) 13:30~17:00 (17:30~懇親会)
場所 広島市東区地域福祉センター 4階小会議室
内容 独立型社会福祉士委員会委員10名の実践報告及び意見交換
定員 40名
参加費 会員1,000円、非会員1,500円、学生500円(社会人学生は含まず)
*参加費は当日現金支払い。まずはファックスでお申込みください。
*申込締切日 11月21日(金) お早目に!
主催 独立型社会福祉士委員会

成年後見基本実務研修(フォローアップ研修)

日時 平成26年12月21日(日) 10:00~16:00
場所 広島県健康福祉センター7階 中会議室
内容 受任の流れと必要な後見事務(報告書)、成年後見人の倫理、ロールプレイ等
定員 40名
※対象者 ばあとなあ名簿登録者
2013年度までの成年後見人養成研修修了者で名簿登録を希望する方(過去に名簿登録した後、今年度までに抹消している方も含みます。本年度養成研修受講者は後日申し込いただきます)
参加費 3,000円
主催 権利擁護センターばあとなあひろしま運営委員会

『Lifers ライファーズ 終身刑を超えて』上映会&

『社会復帰に向けての取組~広島刑務所の事例を通して』

日時 平成26年11月22日(土) 13:30~16:30(受付13:00~)
場所 広島市南区地域福祉センター ボランティア研修室
内容 日本における社会復帰への取組等について
参加費 会員500円 非会員1,000円
主催 西支部

編集後記

広島土砂災害に続き御嶽山噴火と自然災害の怖さを感じています。予期できない恐ろしさ、いつ身の上に起こるかわかりません。常日頃から、防災についての知識をひとりひとりが身につけないといけません。非常用持出袋にハザードマップ、災害用伝言ダイヤル(171)など。今月号は、本会の災害時支援活動について特集しました。非常用持出袋ですが、我が家では、よくカタログギフトをもらった際に災害時に役に立つものをオーダーするようにしています。カタログギフトで注文すれば迷う必要なし。先日は、ランタンを注文しました。次は、ラジオか寝袋をオーダーしたいな。今までは、レトルトカレーを注文していましたよ! 皆さんカタログギフトを有効に活用くださいね。では…。(な)

